

総務、産業、建設常任委員会記録

招 集 年 月 日	令和2年6月18日（木）
招 集 の 場 所	議員控室
開 会	午後1時23分
出 席 者	委員長 鈴木 宏通 副委員長 山岸 三男 委員 吉田 眞悦 委員 佐野 善弘 委員 前原 吉宏 委員 櫻井 功紀 委員 千葉 一男 議長 大橋 昭太郎
欠 席 者	
職務のため出席した者の職氏名	議会事務局主事 高橋 秀彰
協 議 事 項	・ 公共施設マネジメントについて
そ の 他	
閉 会	午後3時01分

2号様式 協議の経過

鈴木委員長	それでは、第7回総務、産業、建設常任委員会をこれより始めたいと思います。 本日、午前中の会議、皆様お疲れのところ、午後から引き続きでございますが、よろしくお願いを申し上げます。座らせて進めたいと思います。 本日、委員全員出席でございますので、委員会は成立しております。 会議事項についてでございますが、公共施設マネジメントについてでございますが、その中で前回いろいろと質問または宿題になっていたところ、耐用年数など、あと皆さんに資料もお配りしてます。 この点について、先にこの説明を、千葉委員からいろいろ説明が出た部分とか、前回の質疑を受けて皆さんに資料を配らせていただいております。 では、事務局よりお願いいたします。
高橋主事	はい。 本日、耐用年数についての論点の整理という資料を出させていただいております。 この資料は特段公的な機関から出された資料というわけではなくて、この執筆者の方が財務官僚をやられているようでして、公的なものではないまでも参考になる部分があるだろうと思って今回配付させていただきました。 また、説明の中で間接的にはありますが、前回質問として出ました耐用年数の設定のされ方の部分とか、あるいは減価償却が公的にどのように活用されているかとか、そういった部分に対しての回答に間接的になるような中身かなと思っております。 全部は読みませんので、抜粋してポイントだけ紹介させていただきます。 1ページお開きください。耐用年数についての論点の整理という題になっておりますが、要旨の3行目になります。行政における固定資産の耐用年数に関して予備的な考察を行うというものでございます。 政策的には3点がポイントとなると思われるということでございまして、①から③までありますが、耐用年数の正確な測定、予防保全の明確化・要件化、固定資産台帳等の整備というものが、行政において採用年数というものを考えていく際にこの3つをリンクさせていくべきだという内容で要旨がまとめられておりまして、最後の結論についてもこれに近いような内容が書かれているものでございます。
	(資料の抜粋読み上げ)
鈴木委員長	ありがとうございました。 前回の吉田委員あるいは千葉委員からのいろいろ減価償却についての質問で、事務局の高橋さんにいろいろ調べていただきながら、今この資料をもとに答えていただきましたけれども、これにつきまして両委員、何かもしありましたら。それでよろしいですかって言ったら変ですけど。 減価償却については費用の配分と投下資本の回収という今の説明でよろしいかなと思って聞いていましたけれども。 吉田委員はよろしいですか。(「はい、ありがとうございました」の声あり)

	では、耐用年数について、前回出ました長寿命化の部分でいろいろ話が出ましたので、今の回答ということになりますので、これより議論のほうに進めてまいりたいと考えます。よろしいでしょうか。（「はい」の声あり） では、前回申したとおり、まず本町の公共施設等総合管理計画の中での課題を再度確認させていただきたいと思っております。課題もしくはその中で基本方針を前回、「ならず」、「のぼす」、「へらす」というところもありましたけれども、まず課題の再確認をさせていただきたいと思います。 概要版を見ていただければありがたいなと思っておりますが、課題を町としては3つ挙げております。 2番から進めたいと思いますが、まず、投資的経費を上回る修繕・更新費のピークが間もなく到来ということで、遠藤補佐よりいろいろ説明をいただきましたが、その中でのあと5年で更新のピークを迎えると。投資的経費は13億7,000万円のおよそ3倍に達すると。この更新ピークをなくすことが課題になると。その部分で下の将来更新費の算出と長寿命化及び平準化のグラフとこれを平準化するというものでございます。 それで、投資的経費を年次13億7,000万円使う部分で約40億という金額にこれからなっていく時期を迎えると。それが5年後だということで、そのようになっているんですが、現状の部分で今のところ施設を維持した場合にそれだけがかかるということでございますので、これについて大きく皆さんから何かありますか。このとおりでよろしいですかということもないですが。 下の表にも具体的な数字が書いてありますが、40年間の修繕・更新費の累計が1,119億円。年間に必要な更新経費が28億円。そして一番下に、ちょっと見辛いですが、建設更新に充当できる投資的経費として13億7,000万円あります。もちろん皆さん御存じのとおり町の様々な予算総額から言ってもこの金額ですので、いかに大きいかかわるかと思えます。 この中で②に移るわけですが、もちろん「対症療法型の維持管理」では投資的経費を上回る修繕・更新費が必要だということをうたっている。もちろん当然のことだと思いますけれども、要は長期にわたっての更新・修繕費を縮減する必要があり、その中で結局我が町では、③にあります、1人当たり公共施設の延べ床面積が約6平米あり、全国平均と比べても1.7倍高いという値です。ということが、この3つあります。 皆さん、日光市等いろいろ見ていただいたかと思いますが、公共施設の中で、日光市で見せていただいた基本方針の考えの中では、まず最初にハコモノを減らすという、かなり施設が多いということでこれを考えていると。そして、減らすことによるサービスの最適化を図るということも適正化のための基本方針の中の3つの柱に日光市の場合はなっております。インフラ基本方針の中に、計画的・効率的な整備・維持管理の推進と投資コストの平準化とトータルコストの縮減。その中に、うちのほうではない言葉としてサービスの最適化ということも含めてハコモノを減らすことも、もちろん日光市の場合は5つの自治体が集まってできた市ですので、同じような施設が数多く
--	--

	点在しているという話で昨年度説明を受けてまいりました。 この課題に関して皆さんからそのほかいろいろ、もしこういう課題は考えられないか、このところをこういうことも考えてはどうかということがもしございましたらいろいろ話を出していただければと思っております。 では、これより休憩します。
	休憩 午後 1 時 4 8 分 再開 午後 2 時 5 2 分
鈴木委員長	再開をいたします。 美里町の公共施設等総合管理計画の中におきまして、美里町で今年度ピークを迎える中での対応はどのような予算措置または実績をしているのかという質問、そして内容を確認すべくいろいろと担当課と話をしたと思います。 また、一人当たり床面積の削減が、人口が 2 割減少になるというところから説明はされているが、この部分の根拠をもう少し説明をいただきたいというのと、その削減がいつどのような時点で行われていくのかということも含めながら質問をさせていただきたいと思います。 あと、長寿命化計画のない施設についての再確認をさせていただきたいと。 あとは、人口減少に伴う、災害時避難所としての活用等を踏まえながら、削減していくだけでいいのかということも踏まえながら確認して、計画もまたこれから地域ごとのサポート的な部分はしていくかどうか確認させていただくということもございます。 あとは、広域的な連携の中で、我が町だけで考えていける部分というのは限られるところから、広域的な地域の話として、大崎事務組合または大崎市を中心としているそういう連携を取れるような話し合いは可能なのかどうか。これからする予定等あるのかどうか。それも確認をさせていただきたい。 あとは、計画の推進について、4 点ですか。計画として計画推進に向けていろいろあるが、内容をそれぞれ 5 年間の事業確認、それに向けてどのような対応をしているか、検討してきたかを確認させていただくということを担当課とすり合わせをしたいと考えますが、よろしいでしょうか。 もし、そのほかございましたら、事務局か私に直接連絡をいただければありがたいと思いますので、いろいろと本町の公共施設のマネジメントについて少しずつ深掘りをさせていただきたいと考えます。 はい、吉田委員。
吉田委員	今言われた中に付け足して考え方を聞いてほしいのが、避難所の関係なんですけれど。それで、あくまで今回の管理計画に載っている関係で、この避難所という言葉が付いているのは、建築系公共施設の小中学校だけなんだよね。それ以外に、例えば今後 35 年計画期間があるわけでしょう。だから、学校についても中学校は動いているけれども、将来的には小学校だってだけでもね。その避難所というものには、ほとんど学校なんだよ。指定避難所は。

	そうなってくると、将来的には避難所というそのものが、考え方が、施設を縮小していくということについてさ。逆に、避難所だからある程度の面積がないと駄目でしょう。駅東なんかもそうだけれども。 そういう代替的な考えは、削減と相反するかもしれないけど、そういうものについての考え方はあるのか。
鈴木委員長	はい、わかりました。 では、その避難所関係の学校の再編の部分で代わりになる代替で避難所等に充てる部分はどのように考えるのか。
吉田委員	その他の公共建築物には言葉がないんだよ、そういう避難所という言葉が。
鈴木委員長	では、加えて質問させていただきます。 あとは、もし何かありましたら、さきほど言ったとおり事務局か私にいただきたいと思います。 本日は以上としたいと思いますが、よろしいでしょうか。 では、休憩をいたします。
	休憩 午後 2 時 5 7 分 再開 午後 2 時 5 9 分
鈴木委員長	では、次回の委員会は 7 月 13 日月曜日の午前 9 時半より行いたいと思います。 一応、先ほどいろいろ質問が出た部分を担当課とすり合わせながら次回に向けて進めたいと思います。 本日は以上としたいと思います。副委員長お願いします。
山岸副委員長	今日は午前と午後とありました。 いろいろと私たちの研究テーマが少しずつ見えてきた部分もございます。課題もいっぱいございます。こういう状況の中でしっかりと協議をして美里町の公共施設をうまく利用できるような進めていきたいと思います。 今日は大変御苦労さまでした。
	閉会

会議の経過を記載して相違ないことを証するため、ここに署名する。

令和2年6月18日

総務、産業、建設常任委員会

委員長